

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第1回史跡大森勝山遺跡整備指導委員会
開 催 年 月 日	平成30年7月18日(水)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後1時30分から午後3時30分まで
開 催 場 所	弘前市裾野地区体育文化交流センター 史跡大森勝山遺跡
議 長 等 の 氏 名	委員長 工藤竹久
出 席 者	委員長 工藤竹久 委員 岩瀬直樹 委員 関根達人 委員 須藤司 オブザーバー 県教育委員会文化財保護課 斉藤主査
欠 席 者	委員 岡田康博
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	文化財課課長補佐 神弘樹 同課主幹兼埋蔵文化財係長 岩井浩介 同課主事 東海林心 同課技師 工藤雅人 建設政策課 朝倉技師 (株)空間文化開発機構 田口研究員
会 議 の 議 題	(1) 史跡大森勝山遺跡整備事業について (2) その他
会 議 結 果	別添議事録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	
会 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)	別添議事録のとおり

【会議内容要旨】

議題（１）史跡大森勝山遺跡整備事業について

1) 現地調査時

事務局より、工事車両用仮設道路の整備と北東側の隣接地の活用について説明。

須藤委員 : 将来的に市道拡幅する場合は、どのくらい、どちらに広がるのか。

事務局 : 基本的な線形は仮設道路を踏襲し、基本は山側に拡幅する形となると思われる。幅員は概ね待避所幅分になるイメージ。

工藤委員長 : 買い上げ地の範囲はどこまでか。

事務局 : 大森川、旗竿状の旧駐車場用地、仮設道路北側法尻に囲まれた台形状の範囲となる。

工藤委員長 : 昨年度の実施設計との違いは、この線形変更がメインか。

事務局 : そうなる。ただし、基本的な工種に変更はなく、また、線形も最初の範囲のみが変更となるものであり、盛土量等が変わる程度である。

台地上のアイグロマツの生育状況について、岩瀬委員に確認したい。事務局としては周囲の広葉樹が繁茂し、やや生育状況に問題があるのではないかと危惧している。

岩瀬委員 : 視認した限り、樹勢に問題はない。ただ、周囲の木が高くなり、やや日当たりが悪い感じがする。周囲の低木を伐採し、高木の枝払いを少しすると良い。

事務局 : 作業量から整備工事というよりは、維持管理の範疇化と思われるので、町会と相談し、次年度の施工を検討したい。

2) 現地調査を終えて

工藤委員長 : 継続工事の年度取り合いなどを説明してほしい。また、継続工事というのは通常取られる措置なのか。

事務局 : 全体としては約 46,800 千円の設計額となるが、今年度の出来高は 5% であり、全体工事の中で、出来高として認められる工種が進捗すれば、その分を施工業者に支払う形となる。よって今年度は、9 月以降に契約した後、雪が降るまでに仮設道路を設定すれば、概ね出来高は終了となる見込みであ

り、残りは次年度工事となる。

なお、市の予算は基本、単年度主義であり、継続費の設定は大規模な事業等に取りられる措置となる。ただ、大森勝山遺跡のような地域では、土工事が可能な期間は限られており、継続工事として前年度契約できれば、次年度の雪解けと同時に着手でき、仕上がりの上でも大きな利点となる。

工藤委員長 : 今回の大きな案件としては、仮設道路のルートの変更ということか。

事務局 : そうなる。ただ、工種で変更が生じるものではない。

関根委員 : 今後の活用にあたりクマは大丈夫か。

須藤委員 : 確かにクマは周辺におり、十腰内方面から大森方面へ横断しているようである。遺跡も横切っているだろう。ただ、基本は朝晩だと思う。りんごへの直接被害はないが、あまりクマが出るといって、手伝いの人が来なくなってしまう部分もある。

事務局 : 最終手段としては、史跡伊勢堂岱遺跡のように周辺の草地を広範囲で刈り払いし、電気柵で周囲を取り囲むという方法も考えられる。しかし、景観への悪影響やコストを考えると、あくまでも最終手段と考えている。現状では、市が積極的に現地で調査や、維持管理、公開活用等に取り組んで10年以上経過しているが、遺跡での直接の目撃情報はない。また、先ほど須藤委員からも紹介があったように、クマが出る前提であまり大々的な手段を実施すると、クマが大量出没する地区としての負のイメージが一人歩きしかねない。クマも他の野生動物と同じく、普通に生息する生き物であり、基本は経過観察や注意喚起、見回りなどのソフト的な対応を前提としたい。なお、最終的には周辺農地が、耕作放棄されることなくしっかりと継続的に営農されることが、最も効果的なクマ対策となるものであり、地域の活性化が重要になるものと思われる。

工藤委員長 : 岩瀬委員にはマツの件でお聞きしたい。マツの種類と今後の対応はどうなるのか。

岩瀬委員 : アカマツとクロマツの雑種であるアイグロマツになる。

事務局 : 維持管理の中で、少し周辺樹木を伐採し、日当たりを良くしたい。

県斉藤主査 : 今年度の現状変更手続はどうするのか。

事務局 : 工種の数量が固まり次第、申請する。

議題（２）その他

事務局より、今年度の公開活用事業について報告。

- ① 第５回大森勝山じょうもん祭り
- ② ちびっこ縄文講座
- ③ 市民向けのバスツアー